

# 著作権管理・IPビジネスの課題を ブロックチェーンで解決！

私たちが様々なお客様からの声をお聞きする中で、著作権管理（ライツマネジメント）やIPビジネスにおける課題が浮かび上がってきました。

今回、本ホワイトペーパーでは著作権管理及びコンテンツ流通にテーマを絞り、富士通の取り組みを通して課題にどう立ち向かうべきか、テクノロジーを用いることでどのような仕組みづくりを行うことができるのか、コンテンツ中心のビジネス実現に向けた私たちの考えをご紹介します。

## 著作権管理及びIPビジネスの実態

コンテンツを二次利用するにあたって、既存の仕組みが業務負荷につながっていると認識しています。

各種権利の所在や利活用履歴、窓口、様式を確認することに非常に多くの時間が割かれるほか、実際の利用にあたってはアナログ方式でやり取りをすることも多く、そのうえで表現チェックや加工処理などを施す必要があり課題が山積しています。

そのため、クリエイティブな領域ではなく事務的な領域に時間が割かれ長時間の労働にもつながるほか、コンテンツを軸としたビジネス展開も容易ではありません。

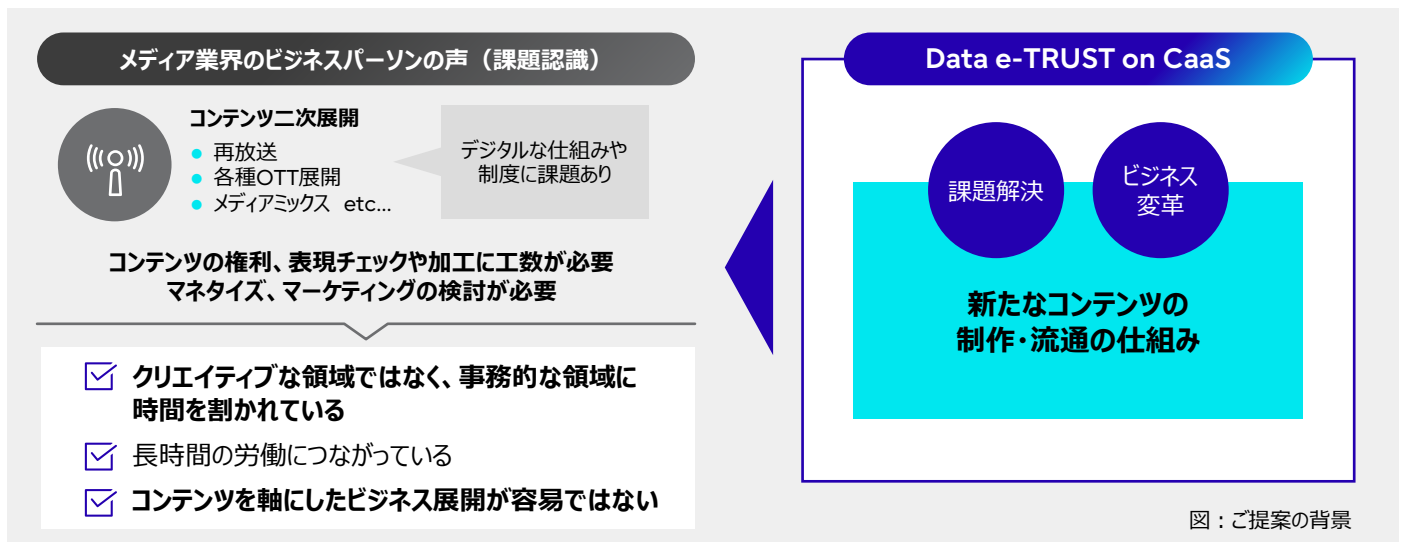
しかしながら、既存の広告型ビジネスモデルの在り方が変わりつつある中で、コンテンツを軸としたロングテールのビジネス（ジャーニー型コンテンツビジネス）が求められており、業務の最適化に加えて新たな制作・流通の仕組みづくりが必須であると考えます。

## 現状の課題解決に向けて

今回、著作権管理及びコンテンツ流通にテーマを絞り、そこに存在する課題解決に当社のテクノロジー「Data e-TRUST」を用いることができるのではと想定しています。

概要として、課題の洗い出しが前提とはなりますが、著作権の所在や変遷、利用条件、支払いをデジタル上で管理・実行できることがコンテンツの二次利用を容易にすることにつながると推察しており、その基盤として、情報銀行などで使われるデータのトラストな流通を実現する「IDYX」という技術、および、データの変遷を保持できるCDLという技術を基にした「Data e-TRUST」というサービスの利用を検討しています。

業務のデジタル化とともに、IPの新たなビジネス仕組みを実現します。



## Data e-TRUSTの概要と特長について

「セキュアな分散データの連携」「データの真正性を担保」「改ざん不可能なエビデンス管理」の特長があり、分散された個人/企業の情報を安心・安全・自由に連携することが可能です。これにより、信頼できる価値の交換を通じた新たな経済圏の創出を目指しています。

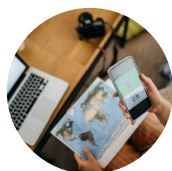
今回の著作権管理に関する課題及びコンテンツの二次利用によるビジネス化に向けては、ブロックチェーンの考え方にに基づき各ステークホルダー間でデータを分散管理することで権利の所在、変遷を明確化し、許諾や支払い等もスマート化、加えてNFTのように素材の販売やインフルエンサー等に利用されることで課金が発生し収益につながるとともにファンコミュニティの強化にもつながると考えます。

「Data e-TRUST」は、セキュアでオンデマンドな分散データ流通の仕組みと電子証明機能、ブロックチェーンを拡張した柔軟でスケーラブルな台帳機能によって、異なるシステムやサービス間でのデータ流通の真正性と安全性を保証します。これにより、デジタル取引における個人や企業に関わるあらゆる情報の認証と、安心安全で自由なデータ流通の両立を実現し、金融や製造、流通、医療分野などにおける様々な課題解決や業種を超えたDXを強力に推進します。



### セキュアな分散データの連携

ヒト、組織、企業をまたがるデータ連携を可能にし、データ提供時の個人/組織の同意やきめ細やかなアクセス制御などデータのオーナーシップや情報開示のガバナンスを提供します。



### データの真正性を担保

ヒト、組織、企業を認証するための様々なデジタル証明書を提供し、色々なサービスの認証シーンで活用することができます。



### 改ざん不可能なエビデンス管理

ヒト、組織、企業でやり取りされる取引や活動の証跡を紐づけて管理し、バリューチェーンやカスタマージャーニーを高度に可視化することができます。

#### ▼ Data e-TRUST詳細はこちら

「Data e-TRUST」

<https://www.fujitsu.com/jp/services/caas/data-e-trust/>

3つのコア機能により、エコシステムの場合、業務プロセス改革、新ビジネスの創出を後押しします。

1

各社のデータを秘匿管理し、企業間でのデータ連携をコントロールできる

2

様々な情報を電子証明書化し、流通・活用できる

3

様々な取引の証跡を、改ざん不可能な形で管理できる

## ユースケース



### アイデンティティの証明

個人や法人の経歴、資格、所属などの様々な属性情報の真正性をオンライン上で証明することができます。



### パーソナルデータ流通

ユーザ本人から同意を得たデータのみを、様々な企業やサービス間で安心安全に共有することができます。



### サプライチェーンデータ連携

サプライチェーンやバリューチェーンに関わる様々な企業間でのオンデマンドなデータ連携を実現します。



### デジタルコンテンツの取引

デジタルコンテンツを限定化・唯一無二化し、コンテンツの著作権や所有権の管理と流通の促進を両立します。

## 富士通の取り組みやケイパビリティ

### 富士通のケイパビリティ

当社のケイパビリティについてご紹介します。当社ではData e-TRUSTを構成するテクノロジーについて特許があり、Data e-TRUSTにおいては様々な企業様とPoCやPoBなどに取り組んでいます。「Data e-TRUST 安心安全で自由なデータ流通を実現（導入事例参照）」

導入事例

<https://www.fujitsu.com/jp/services/caas/data-e-trust/#anc-05>

加えて、Web3において課題ともなっていた業界横断的な企業間コラボレーションを実現に向けて、当社独自の機能として、新たに「ConnectionChain」機能も開発しました。これにより、異なるブロックチェーン同士を連携して情報をやりとりできる相互運用性を確保し、自律分散型社会をテクノロジーによって支えます。

(PRESS RELEASE : 6/15 自律分散型社会を支えるWeb3の中核を担うブロックチェーン連携技術を提供開始)

6/15 PRESS RELEASE

<https://pr.fujitsu.com/jp/news/2023/06/15-1.html>

また、当社はオープンイノベーションに関しても積極的な取り組みを行っており、WEB3に関して「Fujitsu Web3 Acceleration Platform ※」を提供し、様々な企業様との共創を実現しています。

※Fujitsu Web3 Acceleration Platform :

「Web3 Acceleration Platform」はWeb3の鍵となる「自律分散型組織（DAO）、貢献に応じた最適な利益分配」「デジタルコンテンツに新たな価値を創出」「デジタルなデータが流通する経済圏の創出」という3つのテーマを軸に、富士通が取り組んできたトラスト、ブロックチェーン、コンピューティングの技術と活用のノウハウをオープンにし、コミュニティ構築や開発コラボレーションなどの共創活動を通して新たな経済圏を生み出すものです。

Fujitsu Web3 Acceleration Platform

<https://www2.fujitsu.com/jp/web3-acceleration-pf/>

## 目指す姿

**Data e-TRUSTで新たなデジタルエコノミーを構築し、  
企業や人々が新たな価値を共創できる社会を実現します。**



## 最後に

解決に向けてはステークホルダーの整理や課題の洗い出しから行う必要があり、まだまだ実現後の姿がイメージできていないことが実情です。しかしながら、解決の糸口はあると認識しています。

課題の洗い出しに向けてまず一度会話させていただきたく、各メディア企業様へのお願い事項としてまとめいたします。



詳細については「メディア&エンターテインメントDX」Webサイトをぜひご覧ください。  
今後もメディア業界における最新の事例や技術情報などを継続して発信してまいります。

トップページ | <https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/media/index.html>

コンテンツ管理・データ利活用 | <https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/media/data-driven/>

## お問い合わせ先

富士通株式会社

メディア&エンターテインメントDXサイト事務局

Tel 0120-933-200

E-mail [contact-media1@cs.jp.fujitsu.com](mailto:contact-media1@cs.jp.fujitsu.com)

Web <https://contactline.jp.fujitsu.com/contactform/csque33201/195296/>